

「そんなつもりじゃなかったのに…」

～LINE など文字のやり取りで起きる誤解について～

LINEをはじめとするSNS上の文字のやり取りは、お互いの表情や声の調子、身ぶり手ぶりなどが見えないコミュニケーションです。また、メールと比べて、やり取りのテンポも速く、短文中心となるため、自分が伝えたいこととは違う意味で受け取られてしまうことも起こりがちで、いじめやケンカになるケースもあります。



【誤解の例】

(例1) A子、「明日、駅前に遊びに行こうよ！」
B子、「私も行きたい！」
C子、「何で来るの？」

(例2) A子、「1組の〇〇君、ステキ！！」
B子、「オシャレだね」
C子、「〇〇君、カッコよくない」

(例3) (失敗したA子に対して)
A子、「ごめん、私のせいで」
B子、「気にしなくても平気だよ」
C子、「A子は友達じゃない」



【解説】

例1、「どういう方法で来るの？」という交通手段を確認するつもりが、「あなたは来るな」という意味で受け取られた。

例2、「カッコよくない？」と「？」マークをつけ忘れたため、「〇〇君はカッコいい」という共感の意味のつもりが、「良くない」と否定の意味で受けとられた。

例3、友達であることを確認、強調しているつもりが、「あなたは友達ではない」という拒絶の意味で受け取られた。

文字だけで伝えると、その時の感情が伝わらないので、相手に誤解されることがあります。

例1の場合、面と向かって直接「何で来るの？」と言えば、その時の表情や口調などから相手はその意味を理解してくれたはずですが、文字だけで「何で来るの？」と伝えると、自分が伝えなかった意味を誤解されることも起きます。また、文字だけではなく、絵文字やスタンプを使ったとしても、それをどのような意味で受け止めるかは、やはり相手次第です。

SNSは、ポジティブなメッセージ、連絡事項、報告など、明確なやり取りを伝えることには向いているが、複雑なこと、感情が絡むこと、ネガティブなメッセージなどのやり取りには向いていないと指摘する専門家もいます。

同じ言葉でも人によって受け取り方が違う場合があることをしっかりと認識し、メッセージを発信する前に今一度、内容を読み直してみてください。

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 角田

☎:0776-20-0745 (直通)、メール：h-kakuda-um@pref.fukui.lg.jp

★子どもの安全安心に関する情報などをツイッターで発信しています→

